

宮崎県拠点だより

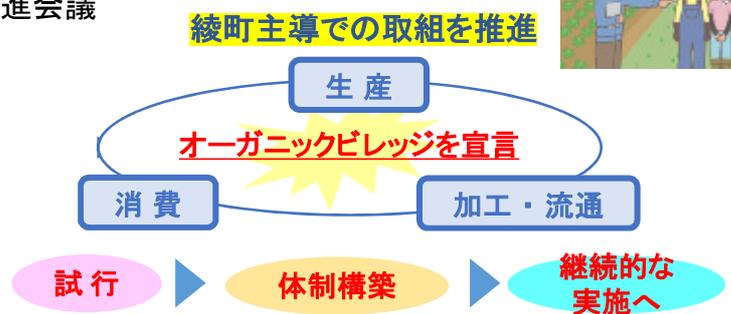


宮崎県内における「みどりの食料システム戦略」関連予算活用状況

令和4年度から、みどりの食料システム戦略を具体化するため、宮崎県内では関連予算を利用して以下の取組が行われています。

① 綾町 オーガニックビレッジ宣言の取組

- 活用する事業(交付金)：有機農業産地づくり推進緊急対策事業
- 事業実施主体：綾町自然生態系農業推進会議
- 取組内容(生産、加工・流通、消費関連)
 - 有機農業を学べる学校の設立
 - 乾燥野菜の調査、加工野菜の商品開発
 - 小学生向け食の授業
学校給食の有機農産物活用 等



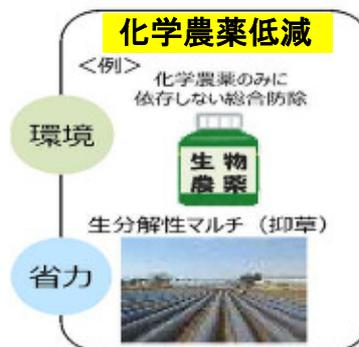
② 高鍋町・木城町 5年後の有機農業の姿を検討

- 活用する事業(交付金)：有機農業産地づくり推進緊急対策事業
- 事業実施主体：高鍋・木城有機農業推進協議会
- 取組内容(有機農業実施計画の策定)
 - 検討会の開催
 - 試行的な取組
 - 有機農業確立に向けた技術検証・実践
 - 農業高校生など将来の担い手への技術講習
 - 保育園、学校給食の有機農産物の活用 等



③ 新福青果（都城市）バイオ炭等によるグリーン化

- 活用する事業(交付金)：グリーンな栽培体系への転換サポート
- 事業実施主体：新福青果グリーン栽培実証協議会
- 取組内容
 - バイオ炭施用効果等の検証
 - 生分解性マルチ導入効果の検証
 - 栽培マニュアルの作成



実証試験	環境にやさしい栽培技術
成果の普及	省力化に資する先端技術
	グリーンな栽培マニュアルの策定
	産地戦略の策定

「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」受賞!!

農林水産省では、持続可能な農業の確立を目指し、意欲的に経営や技術の改善等に取り組んでいる農業者等を表彰。(3月6日)



農林水産省ホームページで紹介 <https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyo/attach/pdf/230217-4.pdf>

【GAP部門】

イシハラフーズ 株式会社

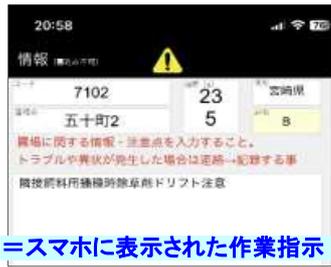
農林水産大臣賞



GAPの取組等を記録し、社員間でリアルタイムに共有できる独自の営農管理アプリを自社で開発。



＝自社開発アプリで確認＝



＝スマホに表示された作業指示＝

【有機農業・環境保全型農業部門】

合同会社 オーガニックファームZERO

農産局長賞



有機農業への転換に合わせて、生産ほ場を集約化し、規模拡大を図るとともに、効率的な有機農業を実践。



＝有機栽培米ほ場＝



＝連携商品：箸で切れる餅＝

「つなぐ棚田遺産」で感謝状を贈呈!!

棚田地域の振興等に貢献された企業等に感謝状を贈呈。(3月9日)

宮崎県でも、2企業が受賞!

【未来へつなぐ部門】

酒谷むらおこし 株式会社 (道の駅 酒谷)



坂元棚田の「棚田百選」認定を契機に、棚田で採れた農産物の販路確保だけでなく、棚田観光の窓口としての役割を担う。



＝棚田米の販売＝



＝農産物を活用した食事の提供＝

【クリエイティブ部門】

宮崎梅田学園 株式会社



川登棚田群において、水田の耕作や地域の共同活動に参加し、担い手不足が深刻な当地域の地元農家の負担軽減に貢献。



＝社員による稲刈り作業＝

農林水産省のホームページで紹介

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/kansyajyozotei.html>



宮崎県拠点地方参事官室

TEL 0985-24-2365

本紙の記載内容等についてのご質問、農政に関すること、事業や制度への質問・ご意見等がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

(〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17)